

二宮小学校だより



にのみや学園

二宮町立二宮小学校学校だより
令和6年度第7号(2/7発行)

2025年、令和7年が始まり、早くもひと月あまりが過ぎました。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月去る」と言われるように、年が明けてから年度末までの3か月は、時の流れがことさら早く感じます。ましてや学校での生活はなおさらそのように感じるかもしれません。1月は8日からスタートし、2月も28日間しかなく、3月も25日で修了式を迎えます。6年生は19日に本校を卒業していきます。改めて考えても、この3か月は数字の上でも短い期間です。

このように、あっという間に過ぎていく3学期ですが、4月からの1年を振り返るとともに、新しい学年を意識し、どのような自分をめざすのかを考える、大変重みのある学期です。子どもたちがこの重みを意識しながら学校生活を送ることができるよう、教育活動を進めていきたいと思います。



さて、1月8日(水)に、全校児童が一堂に会する形で3学期の始業式を行いました。冷たい空気が張りつめていたこともあってか、子どもたちは真剣な表情で式に臨んでいました。その中で、今年の干支である「へび年」の持つ意味を紹介しながら、次のようなメッセージを送りました。



『へびは、1年に脱皮を何回か繰り返して成長します。そこから「へび年」には「再生、新しく生まれ変わる」という意味があるそうです。つまり、新しいことにチャレンジするにはよい年です。みなさんも新しいことにチャレンジしてみませんか。そして、「このようなことができるようになりたい」「このようなことを続けていきたい」といった自分の強い思いを持って生活してください。』

また、児童指導担当の職員からは、3学期の持つ意味について、竹の節目になぞらえた次のような話がありました。

『竹は、中が空洞であっても、節目があるからこそ強い風に吹かれても折れないで成長することができるのです。3学期は竹の節目と同じです。今の学年から次の学年に向かって成長していくためには、つなぎの部分、つまり節目をしっかり作ることが大切です。』

新しい年、そして節目の3学期。成長を重ねる子どもたちのすてきな姿をたくさん目にすることができたら嬉しいかぎりです。

<にの小チャンピオン>

今年度2回目となる二宮小学校伝統の「にの小チャンピオン」が、先月、3日間にわたって行われました。1回目(9月~10月)は、クラス対抗のドッジボール大会でしたが、今回は、学年ごとの学級対抗全員リレーです。前回と同様に今回も、体育委員会の子どもたちが中心となって企画・運営をし、当日の準備、進行、審判、記録、表彰も行いました。



毎回のことですが、この「にの小チャンピオン」が近づくと、学級で練習する風景が見られ、みんなで運動をするきっかけとなっています。当日は、大勢の子どもたちの大声援も含め、大変な盛り上がりを見せました。

どの子も次の走者に少しでも早くバトンを渡そうと持てる力を全て出し切っていました。中には、前の走者に大きな声を出して自分の位置を懸命に知らせている子もいました。また、体育の学習を生かし、見事なバトンパスを演じた学年もありました。そして今回も、



仲間を励ます姿、お互いに応援する姿、手助けする姿、声をかける姿があちらこちらで見られました。



リレーなので勝ち負けの結果が出ます。しかしそれ以上に、にの小チャンピオンが運動に親しむきっかけとなっていること、そして、仲間を気づかい、仲間を励まし、仲間を応援しながら、一つのことに取り組む場となっていること、そのことに大きな価値があると改めて感じさせられました。

<むかしからつたわるあそびをたのしもう>

先月、1年生は、生活科の中で「むかしからつたわるあそびをたのしもう」の学習を行いました。昔から伝わる遊びを経験することもそうですが、地域の方と関わったりふれ合ったりすることから、地域の方と交流するよさに気づくことも学習のねらいとしています。

1月15日(水)に「昔遊び名人会」の17名の方、そして「学校運営協議会」の方7名に來校いただき、昔から伝わる様々な遊びについて教えていただきました。

教えていただいた遊びは、「けん玉」「おはじき」「おりがみ」「わりばしでっぼう」「こま」「かみとんぼ」「おてだま」「あやとり」の8つです。

名人会や学校運営協議会の方から遊び方のこつや遊ぶ時のルール、作品の作り方などを教えていただいた後、大人の方と一緒にそれぞれの遊びに挑戦しました。

なかなかこつがつかめず難しい遊びもあったようですが、子どもたちは何度も何度も挑戦していました。その中で、けん玉ができた



子、こまが回せた子、かみとんぼを飛ばせた子、わりばしでっぼうで的に命中させることができた子たちは、満面の笑みをうかべていました。中にはジャンプをして喜びを表現する子もいました。たとえ最後までできなくても、何回もチャレンジする子どもたちの姿はとても輝いていました。



1年生の子どもたちは、体を使って遊ぶことのおもしろさ、手作りの遊びのおもしろさ、友達と一緒に遊ぶことの楽しさ、地域の方とふれ合うことのよさを感じたことと思います。

1年生のために昔から伝わる遊びのすばらしさ、おもしろさを教えてくださった皆様、ありがとうございました。

<来年はどのクラブに入ろうかな>

先月、3年生が、来年どのクラブに入るかを考えるため、それぞれの活動の様子を見学しました。クラブ活動は、4年生から6年生までが行っているもので、共通の興味や関心を追求することを通して、異学年の仲間と共に、主体的・協調的な態度を養うことを目的としています。

二宮小学校には全部で14のクラブ（パソコン、イラスト、手芸、実験アンド科学、昔遊び&物づくり、写真・動画編集、フットサル、ドッジボール、ベースボール、縄とび・大縄、バスケットボール、バレーボール、ダンス、卓球）があり、来年度新しくできる予定のクラブも3つあります。3年生は、これらの中から入りたいクラブを決めます。どのクラブに入りたいかをすでに決めていた子もいれば、見学してから入りたいクラブをじっくり決めたいという子もあり、様々でした。

3年生は、そのクラブではどんな活動をしているのか、どんな作品をつくらしているのか、どんな練習をしているのか、どんな道具を使っているのかなどを熱心にメモしながら、見学をしていました。



子どもたちからは、「上級生の動きが早くて迫力があった」「〇〇クラブがとても楽しそうだった」「〇〇クラブの作っている作品は難しそうだった」「いろいろなクラブがあって、どれに入るかまよってしまう」などの感想が聞かれました。

<書き初め>

新年の決意新たに、全学年で書き初めの学習を行いました。書き初めとは、年が明けてから初めて毛筆で文字をしたためること、1年間の目標や抱負を書き、行動を新たにするという意味があります。子どもたちは、一文字一文字でいねいに、心を込めてしたため、今年にかけの思いを新たにしていました。

